

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		
	2	職員の配置数は適切であるか	5		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5		事業所がある施設は、障がい者にも配慮しバリアフリー化されている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5		できるだけすっきりと整頓し、掲示物等は利用者の集中の妨げにならないように療育室には貼らないようにしている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5		毎日のミーティングや検討会等で、疑問や課題を話し合うようにしている。また、毎年運営方針をたて、方針に沿った運営を行い、年度末に振り返りを行っている。月に1度、病院の発達外来とともに運営会を開催し、課題や現状について話し合っている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5		昨年の評価表の保護者さんからのご意見を受けて、LINEを活用した家庭連絡を開始する。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5		月に1回お便り『もみのきっず通信』を発行し、取り組みについて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5		毎月4回程度、特任講師（2名）に療育をみていただき、療育内容についてアドバイスをいただいている。

	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5		積極的に、内外問わず、研修参加をしている。外部研修に参加しにくい職員は、業務中に研修動画の視聴をしてもらい、研鑽に努めている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5		理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士が、それぞれの専門的な視点で評価し、ケース会で結果を分析したうえで支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5		標準化された複数のアセスメントツールの使用と、施設独自のアセスメント、もみのき病院のアセスメント結果を活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5		毎回、計画に沿ったプログラムを実施し、計画に対する達成状況を記録している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5		できるだけ全員が参加し、多職種で話し合ってプログラムを立案している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		季節感なども考慮し、一人一人の好みや特性に合わせたプログラムになるよう工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	5		児童発達支援は、基本的には親子療育のため個別対応をしているが、必要に応じて他児と関われるプログラムにしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5		それぞれの専門的な視点で目的を話し合い、動きや配慮したい点などについても共有し、必要な関わり方は統一するようにしている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5		それぞれの視点で気付いたことを伝えあうようにしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5		
20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5		計画見直し前にモニタリングを行うだけでなく、月に一度、計画の実施状況や変化について話し合うようにしている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			該当児なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			該当児なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	5		会議での引継ぎや情報提供書により実施している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1	今年度初めて対象児がいるため、実施している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5		個別療育のため、通園時には交流はないが、利用者自身の通っている園での交流をサポートしている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	3	参加できないときは、会議記録を確認するようにしている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		療育は常に保護者が一緒であるため、発達の状況や支援について説明をしながら行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	5		個別にはペアレントトレーニングの視点で助言し、手法を説明しているが、集団でのペアレントトレーニングは実施していない。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		変更の際には改めて説明をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5		できるだけ分かりやすい言葉を用いて説明するようにしている。

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		相談支援の際には助言や支援をしているが、利用時にも相談があれば対応するように心がけている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	感染対策の関係もあり開催できていないが、次年度は保護者が交流できる場を設けたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		通信を月一回発行している。また、必要時には手紙を配布してお知らせしている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	3	地域交流は図りたいと考えているが、感染対策もあり、積極的に行えていない。同施設を地域の方が利用されているため、作品の展示等で間接的に交流が図れるようにしている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5		策定や訓練はできている。保護者への説明は実施しているが、期間が経つと薄れてしまうため、平時にも周知方法を工夫してお知らせしていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		食べ物の提供はしていない。アレルギーのある利用者は現在いない。 不明と回答職員：1
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		